

分類・Fターム一元付与実施費

平成30年度予算額 **33.9億円** (32.8億円)

事業の内容

事業目的・概要

- 登録調査機関において、出願後直ちに分類と多観点ターム（※）の同時付与（一元付与）を行い、先行技術文献調査に必要なデータの作成を行うものです。

（※）・分類：国際条約に基づくもの（約7万項目）

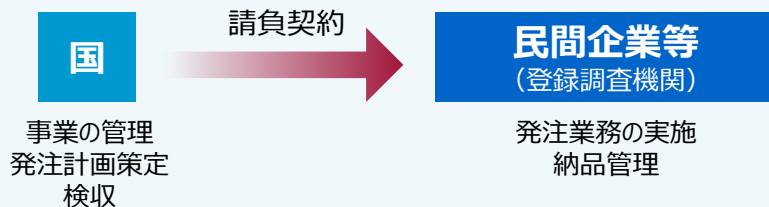
・多観点ターム：日本独自に作成（約36万項目）

- 分類及び多観点ターム付与業務を登録調査機関に発注することによって、特許審査の効率化・迅速化を促進します。

成果目標

- 「世界最速・最高品質の特許審査」の実現に向け、平成35年度までに、「特許の「権利化までの期間」を平均14か月、「一次審査通知までの期間」を平均10か月とすることを目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

- 特許審査官は、本事業で整備される分類・多観点タームを利用して、特許文献の先行技術文献調査を行います。

※利用イメージ

分類・多観点タームを用いて
先行技術文献調査



審査官

国内特許等
約2,800万件分の
データベース

蓄積

本事業

分類・多観点タームを各
出願に付与する

特許：約31万件/年
実用新案：約1万件/年
(注：平成29年度予測値)

※参考（平成28年度実績値）

分類検索回数	2,976,577 回
多観点ターム検索回数	3,114,069 回